



写真提供：神宮司庁

FAX 0853-53-2582

謹賀新年

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 (代行)	〃	〃	支部 長	〃	監 事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理 事	〃	副 庁 長	庁 長
米澤壽重	末岡正文	二宮正巳	白須男	三浦正典	武田敦隆	金築孚	川谷誠一	長里禧臣	内田貞文	長妻敏政	齋木正保	岸江朝夫	廣江朝夫	松浦道仁	佐草敏邦	中田宏記	小野高慶	千家和比古	牛尾充	後藤和彦	篠田範雅	忌部正孝	角河和幸	

島根県神社総代会				島根県敬神婦人会				島根県教育関係神職協議会				島根県神道青年協議会				島根県氏子青年協議会				島根県女子神職会				事務局				録事			
副会長				副会長				副会長				副会長				副会長				副会長				参事				主事			
木佐宏				千家礼				石原道夫				野上郁典				三藤真一				田中恵子				金築知宏				和尾茂樹			
廣江朝夫				倉橋裕子				廣江直澄				宮川貴典				森藤公夫				古瀬真由美				村尾茂樹				宮里慎二			
上田正吉				渡邊厚子				廣江直澄				板垣厚典				白鹿淳志				山崎寧子				高見幸子				高見幸子			

年頭の挨拶

島根県神社庁長

角 河 和 幸



令和三年の
新春を言祝ぎ、
先づ以て皇室
の御安泰と国
家の平和と繁
栄、そして斯界の益々のご隆昌を祈
念致します。

天皇皇后両陛下におかせられまし
ては、日々祭祀公務にご精励遊ばさ
れておりますこと洵に慶賀の至りに
存じます。また、昨年十一月八日に
秋篠宮皇嗣殿下が皇位継承順位一位
の皇嗣になられたことを国内外に示
す「立皇嗣の礼」が執り行われ、御
大典の全ての儀が恙なく行われまし
たことに謹んでお祝い申し上げます。
昨年は春先より新型コロナウイルス
感染症拡大により、国内外の様々
な諸行事が中止、延期となりました。
本宗と仰ぐ神宮におかれましては、
参拝制限などの対策をとられながら
も、日々の祭祀が変わらず厳粛に執

り行われています。この厳しい状況
下において、神宮崇敬の念の涵養に
より一層努めてまいりたく存じます。
さて、県内においては大田市の三
瓶山で開催延期となっておりまし
た。第七十一回全国植樹祭が本年五月
三十日に天皇皇后両陛下の御臨席の
もと開催される予定となりました。
奉迎の詳細は島根県庁より指示を仰
ぎ、皆様方に連絡と要請をお願いす
る事になると存じます。その折には
ご協力の程、宜しくお願い申し上げ
ます。

神社本庁におきましても新型コロナ
ウイルス感染症拡大の緊急事態宣
言を受けて、春の表彰式等全ての諸
会合は中止となり、定例評議員会も
書面審議にて開催の運びとなりまし
た。又秋の定例評議員会は東京では
なく、京都にて開催されました。そ
の中で向こう三年間負担金の三割を
減額する「負担金賦課徴収に関する
特別措置規程案」が承認されました。

島根県神社庁におきましても本庁
に先駆けて六月の協議員会の書面審
議で負担金の二割減額と特別寄贈金
の四割減額で各支部にお願いする事
に決定し、通知しております。また、
毎年神社関係者大会の場において顕

彰しております神宮表彰を始めとす
る各表彰については、大会中止によ
り、実施することができませんでし
たことお詫び致します。改めて受賞
者の皆様方には心よりお祝いを申し
上げ、今後とも益々のご活躍をお祈
り致します。

また、各地域神社においてもコロ
ナ対策として祭事の自粛や縮小など
を行っていると聞き及んでおります。
どのような世情におきましても我々
神職は氏子崇敬者の思いを受け止め、
中執持ちの務めを全うし、祭祀を厳
修していただきたくお願い申し上げ
ます。

県神社庁としては、極めて厳しい
状況下ではありますが、かかる現状
に鑑み引き続き新型コロナウイルス
感染症対策を講じるとともに、県の
課題である少子高齢化、過疎化にお
ける諸問題についても、本県に有効
的な教化活動を展開し、氏子意識の
啓発に取り組んでまいります。

結びにあたり、新しい年を迎え、
コロナ感染症の一日も早い終息を願
い、また皆様方には豊かで平和な良
き年となりますよう祈念し、年頭の
ご挨拶とさせていただきます。

島根県神社総代会長

木佐明宏



明けまして
おめでとうござ
います。

令和三年
辛丑歳の新

春を迎え、ご皇室の弥栄と、神宮をはじめ県内神社のご隆昌、更に皆様方の一層のご清栄をお祈り申し上げます。

平素より、氏神様、崇敬神社の護持運営はもとより、島根県神社庁並びに島根県神社総代会の諸施策の事業推進に格別のご理解、ご協力を賜っていますことに厚く御礼申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルス感染症が全国的に蔓延し、国民生活はもとより、社会活動等あらゆる分野に多大な影響を及ぼしていることはご承知の通りです。

感染症拡大防止を最優先に、ワクチンの開発などに国を挙げて対策を講じていますが、今だ終熄の見通しが立っていないのが現状であります。神社界に於いても例外ではなく、諸神事、会合等ほとんどが中止、縮

小の止むなきに至り、忍耐を要する年になりました。新型コロナウイルス感染症拡大が一日も早く終熄し、平安な日々が戻ることを願って已みません。

畏くも天皇陛下に於かせられましたは、一昨年約二百年ぶりの御譲位による御代替りという歴史的節目を経て、踐祚遊ばされました。令和の御代の始まりより、日々ご公務に精励遊ばされておりますこと、誠に慶賀に堪えない次第であります。

我が国の麗しい精神文化が継承されてきた意義を再認識し、一層皇室敬慕の念の涵養に努めなければならぬと存じます。

昨年七月には、熊本県を中心に九州地方、中部地方など各地で記録的豪雨による水害が発生し、甚大な被害をもたらしました。又九月には、台風十号が、九州のほぼ全域を襲い大きな爪痕を残すなど、自然災害が各地で頻発しました。

これらの災害により犠牲となられた方々に対し、改めて衷心より哀悼の意を表すると共に、被害を受けられた方を始め、ご関係の皆様には慎んでお見舞を申し上げます。

さて、本県神社総代会は、昨年設

立五十周年の節目の年を迎えました。当初予定しておりました記念事業は、感染症拡大予防の観点から延期になつておりますが、本年は是非とも実施できますよう皆様のご協力をお願い致します。

また、我が国は人口減少社会の到来を迎え、地域共同体の崩壊が懸念されています。県内神社を取り巻く環境も、過疎化の影響を受け、多くの課題に直面しています。古えより地域の精神的な拠り所として崇敬されてきた神社の護持発展に尽くすため、皆様方には氏神様や各ご家庭のお祭りに率先してご奉仕戴きたく、又後継者の育成とご指導をお願い申し上げます。

おわりに、本年、コロナ禍が終熄に向かい、平和で稔り多き一年であることを祈念し、年頭のご挨拶と致します。



丑

月	日	曜	主催	行事	場所
6	未定		神 政 連 本 部	中央委員会	神社本庁
			神 社 庁 研 修 所	研修所講師会議	神社庁小会議室
			神 宮	評議員会	神宮会館
7	9	金	県 神 社 総 代 会	総代会監査会	神社庁役員室
			〃	代議員会	神社庁大会議室
			日 本 会 議 島 根	理事会	〃
			島 根 県 神 社 庁	関係者大会打合せ	神社庁小会議室
	未定	〃	全 国 氏 青 協	全国氏子青年協議会定期大会	福岡県
			島 根 県 神 社 庁	広報委員会	神社庁小会議室
			〃	国民精神昂扬研修会（教化委員会総集会）	神社庁大会議室
			8	2月～29(日)	
20	金	〃		監査会	神社庁役員室
		〃		役員会	〃
9	26	木	広 島 県 神 社 庁	広島県神社関係者大会	広島県
	未定		中 国 地 区 神 社 庁	中国地区教化会議	岡山県
	7	火	全 国 神 社 総 代 会	全国神社総代会大会	広島県
	14	火	島 根 県 神 社 庁	島根県神社関係者大会	益田市グラントワ
	17	金	神 宮	神宮大麻暦頒布始祭	内宮神楽殿
	(未定)	〃	神 社 本 庁	神宮大麻頒布秋季全国推進会議	神宮会館
			〃	神宮崇敬会事務局長会	〃
			〃	神社庁長会	神宮司庁
			〃	「皇室」普及委員会	〃
	27	月	全 国 敬 神 婦 人 会	全国敬神婦人会大会	北海道札幌市
	28	火	島 根 県 神 社 庁	正副庁長会	神社庁役員室
	29	水	〃	神宮大麻暦頒布始奉告祭 （祭員・奏楽→出雲地区）	神社庁神殿
			〃	支部長会	神社庁小会議室
			〃	総務委員会（本庁表彰審査）	神社庁役員室
未定		中 国 地 区 神 社 庁	中国地区中堅神職研修（甲）	岡山県	
〃		県 氏 青 協	島根県氏子青年協議会定期大会	出雲市大社町	
10	15	金	神 宮	初穂曳	神宮
	未定	〃	神 社 本 庁	評議員会	神社本庁
			島 根 県 神 社 庁	神宮大麻發送	各支部へ
			〃	広報委員会	神社庁小会議室
11	8月～9(火)		中 国 地 区 神 社 庁	中国地区職員研修	島根県
	11	木	島 根 県 神 社 庁	祭祀委員会	神社庁小会議室
	12	金	〃	例祭・新嘗祭 （祭員→庁長・祭祀委員・神青・女子神、 奏楽→石見地区）	神社庁神殿
	26	金	〃	総務委員会	神社庁役員室
			〃	教化委員会	〃
	未定		神 社 本 庁	全国教化会議	神社本庁
12	6	月	島 根 県 神 社 庁	正副庁長会	神社庁役員室
	7	火	〃	役員会	〃
			〃	身分選考委員会	〃
			〃	研修所企画会議	神社庁小会議室
	28	火	〃	御用納祭	神社庁神殿
	未定	〃	〃	広報委員会	神社庁小会議室
県 敬 神 婦 人 会			総会	未定	

令和3年 島根県神社庁 年間行事予定表

月	日	曜	主催	行事	場所
1	4	月	島根県神社庁	御用始祭	神社庁神殿
	23	土	神社庁研修所	支部祭式助教研修会	神社庁研修室
	26	火	島根県神社庁	正副庁長会	神社庁役員室
	27	水	〃	新年祭(祭員・奏楽→石見地区)	神社庁神殿
2			〃	役員会	神社庁小会議室
	11	木	日本会議島根	建国記念の日奉祝行事	未定
	13(土)~14(日)		神社庁研修所	初任神職研修(前期)	神社庁研修室
	18(木)~19(金)		中国地区神社庁	中国地区神社庁連絡会議	岡山県
	21	日	県神青協	竹島領土平安祈願祭	神社庁神殿
	22	月	島根県	竹島の日記念式典	島根県民会館
	24	水	島根県神社庁	祈年祭・神宮大麻暦頒布終了奉告祭 (祭員・奏楽→出雲地区)	神社庁神殿
3			〃	支部長会	神社庁第2研修室
	5	金	神宮	神宮大麻暦頒布終了祭	内宮神楽殿
	18	木	神社庁長懇話会	神社庁長懇話会	未定
	19	金	神社本庁	神社庁長会	神社本庁
4			〃	「皇室」普及委員会	〃
	10(土)~11(日)		神社庁研修所	初任神職研修(後期)	神社庁研修室
	14	水	島根県神社庁	広報委員会	神社庁小会議室
	17	土	大社國學館	入学式	大社國學館
	18(日)~19(月)		全国神社総代会	総代会幹部研修会	北海道函館市
	21	水	岡山県神社庁	岡山県神社関係者大会	岡山県
	未定		神社庁研修所 全国敬神婦人会	研修所講師会議 役員会・常任委員会	神社庁小会議室 未定
5	10(月)~14(金)		中国地区神社庁	中国地区中堅神職研修(乙)	広島県
	14	金	出雲大社	出雲大社例大祭	出雲大社
	21	金	中国地区神社庁	中国地区社頭講話研修会	島根県
	25	火	全国神社総代会	代議員会	神社本庁
	26	水	神社本庁 島根県神社庁 (院友神職会)	神社本庁設立75周年記念式典 在京院友神職・学生懇親会	明治神宮会館 東京
	27(木)~28(金)		神社本庁	評議員会	神社本庁
	28	金	〃	班幣式・神社庁長会	〃
	29(土)~30(日)		中国地区氏青神青	中国地区氏青神青合同研修会	岡山県
	30	日	島根県	全国植樹祭	大田市三瓶町
			山口県神社庁 島根県神社庁	山口県神社関係者大会 総務委員会	山口県 神社庁役員室
6	4	金	〃	教化委員会	〃
	9	水	〃	正副庁長会	〃
	13	日	〃	役員会	〃
	14	月	〃	身分選考委員会	〃
	21(月)~22(火)		神社本庁	事務担当者会	神社本庁
	24	木	島根県神社庁 神政連県本部	支部長会 代議員会	神社庁小会議室 〃
	25	金	島根県神社庁	協議委員会	神社庁大会議室
	27	日	日本文化交流財団	全国神社検定	※オンライン試験のため神社庁は使用しない

初任神職研修

【主催】 島根県神社庁研修所

【期 日】 (前期) 令和三年二月十三日(土)～十四日(日)

(後期) 令和三年四月十日(土)～十一日(日)

※四日間研修を右二日間ずつ分割実施する。

【会場】 『島根県神社庁』 島根県出雲市大社町杵築東二八六番地
神社本庁研修規程に基づき、新たに任用された神職に対し、神社本庁・神社庁の組織を明確にせしめ、本庁包括下の神職としての自覚と連帯感を養う。

神職任用後五年以内に修了しなければならない必修研修です。

【参加資格】 ※参考神社本庁総合研究所研修規程施行細則第二条三号。階位を有し、昭和五十年七月一日以降に宮司(代務者)・祢宜・権祢宜・主典などに任用された者

【募集人員】 二十名予定

※募集人数を超える場合、県内在住者を優先的に選考いたします。

【申込方法】

【提出書類】

○ 島根県神社庁研修所入所申込書

○ 履歴書

○ 書籍申込書

※申込内容は各自で把握出来るようにコピー等、控えておいて下さい。

○ 角三封筒(B5サイズの封筒)

※一四〇円切手を貼付し、本人の住所・氏名を記入して下さい。

令和三年一月十五日(金) までに神社庁必着でお願いし

【申込締切】

【入所許可】

ます。
入所申込者に対して書類選考を行い、入所許可を通知します。

※なお、入所許可の通知に併せて『研修生名簿』、『研修生活の葉』を送付します。

【必要経費】

研修費二〇、〇〇〇円

教科書代申し込みによる教科書代金

研修開催までに左記の通り準備して下さい。

【準備品】

装束類
○ 白衣○白袴○白足袋○笏(女子はボンボリ)

○ 白緒草履二足(上履・下履)○白手ぬぐい(白ハンカチ)

※白足袋・白緒草履は神社庁で購入することも出来ます。

各教科指定教科書(今回書籍を申込された方は、研修初日にお渡しいたします。)

【宿泊施設】

新型コロナウイルス感染症の影響により、本年は合宿を行わず通講制といたします。

宿泊が必要な方は各自手配願います。

【研修科目】

研修科目		時限	研修科目		時限
神宮史概説	3		神社本庁憲章	3	
敬神生活の綱領	3		神社本庁史(神社庁史)	5	
神社実務	5		祭祀関係実技	3	
古代出雲の神話と歴史	3				

【その他】

・ 研修期間中の欠席はいかなる理由があろうとも一切認めません。

・ 新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で現時点では開催する予定にしておりますが、当該感染症の推移により、開催形態の変更及び中止する可能性がありますのでご承知置き願います。

支部祭式助教研修会

島根県神社庁研修所

令和三年一月二十三日(土) 午前九時より受付

『島根県神社庁』島根県出雲市大社町杵築東二八六番地

支部祭式助教の研鑽と祭式指導者養成をはかるため。

支部祭式助教、その他今後祭式指導者として適任と支部長が認め推薦する者。

二〇名程度予定(各支部原則一名の参加を奨励します。)

【申込方法】 提出書類研修申込書

【必要経費】 研修費 二,〇〇〇円

【日程】

日程	時刻
受付・改服	9:30
開講式	
祭式研修 (基本作法)	10:00
昼食・休憩	12:00
祭式研修 (小祭式)	13:00
休憩	15:00
祭式研修 (小祭式)	15:10
閉講奉告祭 (研修生奉仕)	17:10
閉講式	17:30
解散	

【その他】

・午前中は『基本作法』について、午後は『小祭式』について研修いたしますので、教科書等をご参照の上、事前学習をお願いいたします。

・新型コロナウイルス感染症対策について

・研修生の皆様には受講に際して次のご協力をお願いいたします。

1、発熱等風邪の症状が見られる場合は、受講を見合わせてください。

2、受講にあたっては、マスクの着用・手指の消毒・咳エチケットの励行など感染予防策にご協力下さい。

3、研修中に窓を開放し自然換気を行う場合がありますので、十分な寒さ対策をお願いいたします。

・現時点では感染症対策を行った上で研修実施を予定していますが、当該感染症の状況により急遽中止する可能性がありますので、ご承知願います。

令和三年・皇紀二六八一年
丑年生まれの方々
年頭の所感

安来市中津町

八幡宮 宮司

小澤 直志
(昭和二十四年生)



先年古希の齢も過ぎ、お陰様を持つて無事に六度目の年男歳としての新春を迎えることができた。

『明けましておめでとうございます。』という挨拶、旧来お正月は単に年が改まるというだけでなく、家に「歳徳神」五穀を守る神を迎える特別の日である。歳の神を迎えて旧年の豊作に感謝し、新しい年の豊穰と平和を祈念するのが元旦の祝い方とされ、活力に満ちた歳の神に祝福の意を込め、新しき年を讀えてこの言葉を捧げたといわれている。

さて、図らずも代古屋(神職家の屋号)の長男として生を受け、漠然と神職家の家督を継ぐものと神職資格を取得した。他所に勤めながら称宜職として努めて来た。神主としての自覚は退職後の神職専業になつてからといっても過言ではない。年頭に当

たり、斯様な機会を戴いたことから、僭越ながら実・神・主十年生の想いの一端を啓上してみたい。

仕事は基本的には楽しいもの、楽しくやるものと考えてるが、神職と氏子とのつながりは、初宮詣や紐落し時における幸せや喜び、病氣平癒等の祈願時における苦しみや悩みを共にするなど多岐多様に渡る対処の難しさを感じるところ多々あるものの、心身健全である限り続けて奉職できる喜びに想い浸っている昨今でもある。

己の神主人生を振り返りながら反省方々思うことは、兼業神主といえどもいづれ専業となる時を迎えることから、早い内に「好きこそ物の上手なれ」という言葉を自分のものにしてほしい。神職に関わらず仕事に成果を求めるためには、仕事に誇りを持ち、その仕事を大いに好きになることが適養である。更に職務に従事する上で大切なことは、前例・慣習にとらわれず「案ずるがより生むが易し」といった姿勢で取り組むべきで、①価値観、行動様式、思考態度に満足することなく、自己を求めて変わろうとする勇氣

②自身の問題や課題を客観的に見つめ、あきらめず・逃げず・粘り強く追及する勇氣
③他人の話に耳を傾け、素直に自分の足りない部分を吸収し、学んでいく勇氣
④自分を変えるため、小さな一歩を踏み出す勇氣

を持つことが大切と考えるが、依然未達成であり未だ想いの一端であることが残念である。

益田市神田町

八幡宮 宮司

栗栖 眞樹

(昭和三十六年生)



新年明けまして御目出度う御座います。皇室の弥栄と国の穏やかな平安をご祈念申し上げます。

天満宮の神の使い

の牛には、諸病平癒の力があるといわれます。コロナ禍の沈静化と、一日も早くワクチンや治療薬が開発されますようお祈り致します。

「およそ神は正直を以て先きとなし、正直は清浄を以て本となす。」という神道簡要の言葉があります。神は正直の頭(こう)に宿ると言いますが、正直の道は清い心と清い行いを実行する事で達成されます。

本年も更に、私達の心のよりどころであります奉務神社の神さまに、正直清浄の心と感謝と誠意の心で祭祀を厳修し、神明奉仕に敬神崇祖の真を以て、神徳の宣揚に勵めてまいりたいと存じます。

隠岐郡隠岐の島町

諸浦神社 宮司

高梨 智昭

(昭和四十八年生)



謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、日常生活を脅かす事態となりました。

全国の神社においてもやむを得ず、祭礼の延期や中止が相次いだように見受けられました。

私がお奉仕する諸浦神社においても創建四百年を迎える年にあたり、盛大なお祭りをと総代及び氏子崇敬者一同で考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小したお祭りを肅行しました。縮小したことについては大変残念なことではありましたが、節目の年に私が宮司として関わったことは、とても感慨深いものがありました。これも偏に、責任役員をはじめ氏子崇敬者の皆様の支えのお陰だと思っております。この場をお借りし感謝申し上げます。

平成二十四年十一月より諸浦神社宮司を拝命して以来、約八年の月日が経ちました。この八年間は目の前にあることに一生懸命取り組んでまいりましたが、周りを見る余

裕がなく、たくさんの方々に助けていただくとともにご迷惑をかけてしまいました。これからは心身ともに余裕を持ち、周りのことを考えながら、祭祀や神社運営に精進したいと考えております。

これから人口減少による氏子数の減少や若者の神社離れが懸念されますが、地域の皆様とともに神社神道の昂揚及び神社の護持に貢献したいと思います。そして、次の世代につないでいけるようご奉仕してまいります。

神宮大麻暦頒布始奉告祭

九月二十五日神社庁神殿において神宮大麻暦頒布始奉告祭が角河庁長外役員支部長参列のもと斎行された。



祭典奉仕者

典	奏	奏	祭	斎
儀	楽	楽	員	主
牛	田	篠	牛	三
尾	中	田	尾	浦
		重	博	正
		昭	文	典
		(益)	(邑)	(邑)
		田)	智)	智)
		充		
		(祭祀委員長)		



表彰状感謝状伝達式

九月二十五日神社庁神殿において島根県神社庁顕彰表彰状感謝状伝達式を角河庁長外役員支部長参列のもと挙行された。



例祭併新嘗祭

十一月十二日神社庁神殿において例祭併新嘗祭が役員支部長関係者参列のもと斎行された。

祭典奉仕者

齋主 角河和幸(庁長)
 副齋主 金築知宏(祭祀委員)
 祭員 森 眞史(祭祀委員)
 祭員 野上郁子(祭祀委員)
 祭員 安田祐紀(神青協)
 奏楽 小澤直志(安来)
 奏楽 今井昭紀(安来)
 典儀 牛尾 充(祭祀委員長)



表彰状伝達式



十一月十二日

(木) 神社庁例

祭・新嘗祭に併せ、神道政治連盟結成五十周年記念表彰並びに神社本庁規程表彰伝達式が神社庁神殿にて行われた。
 神政連から須



名誉宮司称号授与

小田神社名誉宮司(出雲市多伎町)

松尾 定邦

(令和二年十月一日付)



我神社宮司 勝部和承氏、八幡宮宮司 篠田範雅氏両名に又、本庁規程表彰では島後支部 水祖神社 役員 吉崎博章氏にそれぞれ表彰状と記念品が贈られた。



研修所講師紹介

左記の方々に研修所講師が委嘱されました。

(任期 令和二年十一月一日

～令和五年十月三十一日)

一、主任講師

氏名

奉務神社・役職

石原 道夫 仰支斯里神社 宮司

一、訓育主任

金築 知宏 島根県神社庁 参事

講師(十六名)

氏名

奉務神社・役職

勝部 和承 須我神社 宮司

石原 道夫 仰支斯里神社 宮司

宮川 眞臣 貴船神社 宮司

内田 貞文 加茂神社 宮司

今井 昭紀 貴布禰神社 宮司

吉岡 弘行 六所神社 宮司

陶山 浩正 三澤神社 宮司

牛尾 充 濱田護國神社 宮司

廣江 直澄 眞名井神社 祢宜

中田 宏記 物部神社 宮司

錦田 剛志 立虫神社 宮司

金築 知宏 島根県神社庁 参事

村尾 茂樹 隠岐神社 祢宜

松尾 充晶 小田神社 宮司

和田 晋爾 忌部神社 祢宜

石崎 彰矩 八幡宮 宮司

清掃奉仕



十一月五日(木)島根県神道青年協議会(会長野上郁子)の皆さまに第十回合同庁舎清掃を行っていただきました。



大社國學館入学案内

詳細は直接大社國學館までお問い合わせ下さい。

《所在地・照会先電話番号》

大社國學館

〒699-0701

島根県出雲市大社町杵築東283

電話 0853-53-2020

《募集人員》

普通課程Ⅱ類(本科生) 15名

同(選科生) 若干名

予 科(別科生) 若干名

《入学試験・内容》

● 第1次 令和3年2月20日(土)

● 第2次 令和3年3月21日(日)

● 第3次 令和3年4月10日(土)

筆記試験(国語・国史・作文)及び面接

《出願手続締切》

● 第1次 令和3年2月15日(月)

● 第2次 令和3年3月16日(火)

● 第3次 令和3年4月5日(月)

遷座祭・式年祭紹介

令和2年
5月24日

てん まん ぐう
天満宮 (遷座祭)

松江市天神町 宮司 長谷川正矩



令和2年
10月3日

か が じんじゃ
加賀神社 (遷座祭)

松江市島根町 宮司 金津 英隆



令和2年
10月10日

おう じ じんじゃ
王子神社 (遷座祭)

雲南市吉田町 宮司 景山 敏宏



令和2年
10月10日

つ む じ じんじゃ
都牟牟神社 (遷座祭)

出雲市斐川町 宮司 金築 孚



遷座祭・式年祭紹介

令和2年
10月31日

たかみや じんじゃ
高宮神社 (遷座祭)

松江市宍道町 宮司 古瀬 裕彦



令和2年
11月14日

ゆ の じんじゃ
湯野神社 (遷座祭)

仁多郡奥出雲町 宮司 石原 肇



庁務日誌

(令和2年9月～12月)

9月2日 研修所講師会議

9月4日 第3回負担金賦課制度等財政調査委員会 於 本庁（角河）

庁長出席

9月17日 神宮大麻曆頒布始祭にて奉安の神宮大麻及曆授与式 於

内宮参集殿（金築参事参列）

9月24日 二級上、二級身分伝達式

正・副庁長会

奨学金選考委員会

9月25日 神宮大麻曆頒布始奉告祭 齋主三浦正典邑智支部長

表彰伝達式

支部長会

総務委員会

10月17日 大社國學館大祭 於 大社國學館（篠田副庁長參列）

10月23日 松江護國神社例大祭 於 松江護國神社

定例評議員会 於 ホテルグランヴィア京都（角河庁長、

篠田副庁長、木佐総代会長出席

11月1日 明治神宮鎮座百年祭 於 明治神宮（忌部副庁長參列）

11月5日 第十回庁舎清掃奉仕 於 神社庁（神青協参加）

11月11日 祭祀委員会

11月12日 例祭並新嘗祭 斎主 角河庁長

11月18日 総務委員会

11月20日 教化委員会

12月8日 正・副庁長会

12月9日
役員会

身分選考委員会

〃
研究所企画会議

〃
階位検定講習会企画運営委員会

12月10日
広報委員会

12月28日 御用納祭

神職任免

(令和2年9月1日～令和3年1月1日)

任	免	任	任	任	兼務
3・1・1	2・9・30	2・9・1	2・9・1	2・9・1	奉職神社名
松江護國神社	平濱八幡宮	山代神社	横田八幡宮	仁多郡奥出雲町	鎮座地
松江市殿町	松江市八幡町	松江市古志原	松江市古志原	松江市古志原	兼務職名氏名
兼	本	本	兼	兼	
権祢宜	権祢宜	権祢宜	宮司	恩田	友生
工藤	柴田	史生	明典	瑞剣	

新任神職紹介



北史生

〔生年月日〕昭和四十四年一月二十八日

〔住所〕松江市古志原六十二・二十二(山代神社)

〔現在、会社に勤務しており、東京都練馬区在住〕

〔奉職神社〕山代神社 祢宜

〔就任年月日〕令和二年九月一日

〔趣味・特技〕合気道

〔ひとこと〕この度、働きながらとなりましたが、神職の資格を取得することができました。

遠距離とコロナ禍のなかで、思うように職務を行うことができない状況ではありますが、一日も早く宮司を支えながら奉務神社へのご奉仕ができるよう日々研鑽に励む所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

神職帰幽

松江市佐草町

八重垣神社

権祢宜 佐草健一

令和二年九月十一日

享年七十四歳

安来市伯太町

八幡宮

名誉宮司 宮廻智丸

令和二年十一月二十日

享年九十二歳

安来市広瀬町

山狭神社

宮司 佐伯一登

令和二年十二月十一日

享年六十三歳

仁多郡奥出雲町

新宮神社

宮司 古澤宏矩

令和二年十二月二十四日

享年七十六歳

謹んで哀悼の意を表します。

島根県神社庁長 角河和幸

神社☆ガール通信

『松江の小泉八雲の足跡 & 講演会』

ゲストに作家「小泉八雲」のひ孫で、自身も民俗学者として活躍の小泉凡先生をお招きし、松江の寺社仏閣を愛した八雲の足跡をたどりました。まずは如何にして「怪談」が生まれたのか、「目に見えない世界」を表現し続けたのかを知るべく「小泉八雲記念館」(島根県松江市奥谷





とも相性が良かったのだと思います。記念館を後に「城山稲荷神社」(松江市殿町477)へ。八雲のお気に入りだった石狐は今でもそのかたちを大事に引き

町322)へ。八雲は1890年(明治23年)アメリカ合衆国の雑誌社の通信員(今で言う新聞記者)として来日。同年8月に島根県尋常中学校(現・松江北高)と島根県尋常師範学校(現・島根大学)の英語教師に命じられました。実は松江にいたのはたった1年。ですが松江時代に小泉セツさんと結ばれたため、八雲の書く日本の怪談は妻から聞いた松江の民話となりまりました。アメリカにいた頃から「古事記」を愛読していた八雲は出雲や松江の地



継がれています。八雲は自身の書籍で城山稲荷神社の御絵札を「松江の唯一の防火設備」と紹介しました。これは「松平家初代藩主・直政公の夢枕に稲荷新左衛門と名乗る美しい少年が現れ、火難除けを約束したので、直政公は早々に城の敷地内に稲荷神社を建てた」という逸話から、松江の家では稲荷神社の御絵札を火難除けとしていたためです。探訪の締めは小泉凡先生による「出雲と神々と八雲」講演会。八雲の趣味

は日本での御神札収集でイギリスにたくさんのお集り物を送っており、現在オックスフォード大学のピット・リヴァース博物館には出雲地方の社寺の護符や汐汲みの竹づつなど80点以上が保存されています。日本では御神札やお守りはお焚き上げに出してしまい保存の対象ではないため、八雲が収集したものは日本にとっても貴重な資料になっているそうです。

また、GHQマッカーサーの副官として来日し、天皇制の維持に重要な役割を果たしたボナー・フェラーズは八雲の書籍で日本を学んでおり、八雲の長男・一雄と親友でした。先生の「凡」というお名前はボナー・フェラーズの「Bonner」から来ているとの事実も判明しました。明治の時代に八雲が日本の文化や伝統美、自然を愛する心を世界に伝えていくのであれば、戦後日本はもっと違う形で進んでいくのかもしれない。



島後支部だより

賀茂那備神社 権祿宣

野津 哲志

賀茂那備神社「百手祭」

毎年三月十一日、隠岐の島町加茂地区の賀茂那備神社では、その年の五穀豊穡を願う祈年祭が行われている。この祈年祭は、明治以前には二月十一日行われており、もともと御饗の神事であったことから、御供に多くの手が掛かり、多忙を極めるため「百手祭」と称されている。実際は



神事の的

多くの手が掛かるほどの御供はないが、一年の十二ヶ月を表す十二個の餅と、旬の和布が供えられるのは特徴的なことといえる。

また、この祈年祭に併せて、弓引き神事も行われる。この弓引き神事は、地区では弓祭と呼ばれており、子供から大人までが毎年楽しみにしている行事である。過去には氏子の中から十歳ぐらいの健全な男子が三名選ばれ(この三名を役主という)、祭日の一週間前より潔斎し、作法を習得させ弓を引かせていた。近年では少子化の影響により、地区の中で役主を選ぶことが困難であり、加茂地区にゆかりのある他の地区の子供たちが役主を務めることも増えている。また役主の年齢は若干下



役主の弓引き

がり、小学校に上るぐらいの六、七歳の子供たちが多くなっている。

弓引き神事では、役主(厄主)は氏子全部の厄を背負って神事に臨み、弓を引き、矢を放つことで悪魔退散を祈る。役主に先立って行う当神社神職の射祓いでは、最後の矢は的を狙わず、空に向かって遠くへ放つが、これは地区の外に悪魔を追いつける意味が込められており、捨矢と呼ばれている。神事を見物に集まった地区の氏子は、役主の射祓いに歓声を上げ、終了後は一坪半の大きな的を皆で競い合って破り取り、自宅に持ち帰りその年のお守りとする。神事終了後には、役主は神職の自宅で直会を行う。この際に御供の和布の吸い物とからし和えをいただく。

このお祭りの起源は定かではないが、古傳祭ともいわれ古くから地区の中で行われていたものと考えられる。

少子化の影響を受けながらも、小さな集落における氏子の良き年を願うお祭りとして、今後も永く守り伝えられるべきものである。



神職による射祓い

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大により、社会生活が一変し、丸一年が経った。県内神社においても、悉く氏子参列での祭や集会等中止となり、今後を案ずる声も多く聞かれる。

これら失った経験により、私たちは「生きる心の糧」を日常生活で関わり合う仲間達との時間から得ていたのだと気付かされた。

今年は、ワクチンも開発・接種され始め、状況は前に進むだろう。とはいえ、従来通りが通用しない世界を迎えた今、変化・成長するためには新しい努力を始めなければいけない。

激動する時代に即し、鎮守の森をさらに良い形で後生に伝えていく、大きな過渡期といえるだろう。

(江)



島根県神社庁報(第三四八号)
発行日 令和三年一月十五日
発行者 島根県神社庁
編集 広報委員会
委員長 長谷川正矩
副委員長 陶山 浩正

委員 宮能 壮充
委員 江角 恵
委員 石崎 彰矩